

政策 04 安全で安心なまちづくり

施策 05 消費者・生活者の安心の確保

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
消費者トラブルなどに遭わず、安心して生活ができています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	この1年間に消費者トラブルに遭った市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
		【産業課】	2.2	3.0	-	1
評価	R4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					(比較不可)
						対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 賢い消費者の育成

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	消費生活啓発事業の参加者数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	750	1,218	502	800	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が716人減少した。 (原因) 消費生活展をコロナ前の形態に戻し、市民祭の開催に 合わせ、スカイワードあさひで1日間開催した。開催日数を大幅 に減らしたことにより参加者が減少したことが要因である。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業02 消費生活相談の充実

指標	消費生活相談対応率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	100	100	100	100	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度同様の対応ができています。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 消費生活相談の充実

指標	(参考：消費生活相談件数) (件)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	192	168	210	200	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値は42件増加している。 (原因) スマートフォンの普及等によりインターネットが身近 になったことから、年齢問わず、回数しばりの定期購入のトラ ブルなどインターネットによる被害が増加したことが要因であ る。一方で、相談が増加するということは、被害が未然に防止 され、被害に遭った場合には、解決への方法を知ることがで き、保護されているとも言える。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 専門的な市民相談窓口の充実

指標	市民相談対応率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【暮らし政策課】	89.7	93.3	92.5	95	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が0.8ポイント低下し た。 (原因) 法律相談において、相談を希望する人が増え、キャン セル待ちが増加したことが、低下の原因である。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業04 相談窓口の周知

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	消費生活相談と市民相談の窓口を知っている市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【産業課】	54.8	47.2	-	70
評価	R4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					(比較不可)
						対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(---)